

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		通常砂防		路河川名等		千石沢		
事業毎の通番		7		市町村名		松本市		
				箇所名(ふりがな)		中山(なかやま)		
事業概要	事業目的	千石沢は土石流危険渓流1ランクであり、保全対象には人家77戸のほか地域防災計画に位置付けられた避難所や県道などの公共施設が多数存在する。 当該渓流の上流域には、不安定土砂や倒木が多く存在することから、地元住民らは、土砂災害に対する不安を募らせており、土砂災害対策の実施を強く望んでいる。 そのため、砂防堰堤を整備し、人家や公共施設等の保全を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		砂防法		
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家77戸 県道、市道、避難所、公民館2棟						
	着手年度	平成28年度	事業期間	9年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	22.0	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 3基			400,000	200,000	180,000	2,000
年度事業内容(主な工種)	地質調査、測量 一式			10,000	5,000	4,500	500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家77戸 県道、市道、避難所、公民館2棟						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	【保全人家】 77戸 【保全対象】 県道、市道、公民館2棟、構造改善センター(一時集会所) 【要配慮者利用施設】 なし 【避難場所】 埴原西構造改善センター					評価	A
	重要性	【災害履歴】 なし 【交通影響】 県道 【位置付け】 地域防災計画の位置づけあり(土石流危険渓流、避難所(一時集会所))					評価	B
	効率性	【費用対効果】 B/C=22.0 【早期効果発現】 事業期間:9年間 【工法等比較検討】 平成26年度砂防計画策定 【総合調整】 治山事業と調整中					評価	A
	緊急性	【地形地質】 地質が脆弱(花崗岩、マサ土) 【流域植生】 放置林 【平均渓床勾配、土砂整備率】 平均河床勾配12.3°、整備率0% 【危険地区】 特別警戒区域指定あり					評価	A
	計画熟度	【情報共有】 関係者を中心に周知(松本市、地元区長) 【地域要望】 地域住民や松本市から要望あり 【合意形成】 事業目的については合意形成が図られている 【住民参加】 現時点で関与は低い					評価	C
	部意見	当該渓流の保全対象には、松本市の地域防災計画に位置付けられた一時集会所が立地しており、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	流域内に不安定土砂や倒木が多数存在している。保全対象には人家、県道、市道、公民館、一時集会所があることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		
	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	地元区より、当該渓流の土石流対策の実施に関する要望が寄せられ、平成26年10月に県、市、地元役員で現地調査を実施した。現地調査の結果、流域の荒廃が進んでいる状況が確認され、また当該渓流の保全対象には、人家77戸のほか松本市の地域防災計画に位置付けられた一時集会所(構造改善センター)等の公共施設も多く立地していることから、砂防事業を実施することとした。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年度に地元町会より土砂災害に関する要望が出されている。	
	③事業説明等の経緯	平成26年10月に地元関係者と現地調査を実施し、砂防事業に係る必要な調査を進めることを説明した。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺環境への影響を抑えることを念頭に砂防設備の設計を進める予定である。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。	
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 10' 50.7" 東経:E 138° 0' 25.11"